

高校生の振り返り

<今回の取組みの感想など（議会関連を抜粋）>

- ・優しく接してくれていろいろな意見を出せてよかった。
- ・議員がより身近に感じる事ができた。10年後の未来をさらに想像する事ができた。
- ・今回を通してもっと身近に議会を感じる事ができました。これからも町民として関わって行けたらとても嬉しいです。
- ・今回の活動をしたことで議会や議員さんが身近に感じる事ができたのでとても良かったなと思いました。とても楽しくできました。
- ・初めはしっかりとしたまじめでカチカチした感じの人たちなのかなと思っていたけど印象とは真逆でした。またお話をたくさんしたいです。
- ・いままではあまり議会について知らないが多かったのですが、私たちのために色々なことをしてくれていることを知りました。私も地域に貢献したいと前よりも強く思いました。10年後の自分を真剣に考える事ができました。
- ・議員さんの方と話すことはあまりないので良い経験になりました。イメージではかたい話になると思っていたので予想以上に楽しかったです。
- ・10年後のことは経験してみないとわからないけど、少しでも明るい未来が見えてよかったです。
- ・10年後の自分や地域がどうなっているのかを考えるのが難しかったけれど、意見を聞いていくうちに少し考えられるようになりました。
- ・最初はカチカチした感じだと思っていたけど、話してみると話しやすくもっと話したいと思いました。とても身近に感じられてうれしかったです。
- ・いろいろな意見や斬新なアイデアが聞けて楽しかった。楽しく人生プランなど見つめ直せたので良い経験になりました。
- ・初めは議会や議員のことについて何も知らなく、気になっていることが多くあり、その気になっていたことを議員さん本人に聞いたこと、人生の先輩方のアドバイスをお聞きすることができて光栄でした。グループワークも楽しくラフな雰囲気ですべて質問し合えてコミュニケーションの大切さも知れました。
- ・自分にはなかった考え、アイデアなどがたくさん出てきて、たしかにと思うこともあって楽しかったです。視野も広がっていい経験になりました。
- ・なかなか話し合いの機会がない中で、今回このような機会をいただいているいろいろ考えさせられる部分もあり、意見を出しやすい空気を作ってくれて感謝しています。
- ・実際に行動し、自分がついていく気持ちを持たないといけないことがわかりました。また実際にボランティアしたりすることを決めました。

- ・今回みんなで話した内容などが今後の参考になったら嬉しいです。
- ・話が脱線しましたが、いろいろ議員のイメージを変えられました。
- ・議会のことについてたくさん教えてもらってよかったです。
- ・町のことは日常ではあまり考えていなかったので良い機会でした。
- ・正直、議員、議会は堅苦しいイメージがありましたが話しやすくて気さくな方がいると分かり堅苦しさは少しなくなった気がします。前は直接話すというより遠くで普段関わらない人が何か言っているなという感じでしたが、今回の機会を通じていろいろ分かりました。
- ・議員の人とはめったに関わるのがなく、こういった機械でたくさん話すことができるとても良かったです。「10年後自分がどこで何をしているのか」や「地域との関わり」について深く考えることができました。自分たちが出した意見を少しでも役立ててもらえたらなと思っています。
- ・考えるだけではなく行動に移していく大切さや、議員さんが日頃していることの大変さを学ぶことができました。
- ・議員さんは固く難しい人だけだと思っていたのですが、話している中で自分が思っているよりも固くなく難しくもありませんでした。
- ・議員のことについていろいろ知ることができて感謝しています。
- ・グループワークを通して、議員の方たちのイメージが変わり、前よりも身近な存在になりました。10年後の自分をより「イメージできたことや、市や町の関わり方を考えられて良かったです。とっても楽しくまじめな話し合いができて良かったです。卒業までにまたお会いする機会があればまた今回のような授業を行いたいです。
- ・自分たちが大人になったら地元をより良いものにしていきたいと思います。
- ・今回の授業で議員に対する考えが大きく変わった。
- ・ぜひTikTokのアカウント作って芽室議会を広めてってください。
- ・10年後どうなっているかわかりませんが地域に貢献できるようにがんばります。
- ・自分も町内会に入っているのので、冬のイベントや夏にはこっちに帰って来ているので近所の人たちとたくさん交流して雑草抜きしたいと思いました。
- ・すごく親しみやすく楽しく学習することができました。
- ・安心安全な世界を作れるように少しでも貢献できるようにがんばります。
- ・グループディスカッションのような形はあまり授業でもやらないので、人とコミュニケーションをとることは大事だと思った。また10年後についてメンバーの夢を聞いてすごく刺激だった。メンバーのみんなと夢についてしゃべったことは友達の仲が深まったし、夢について考える良い機会になった。
- ・今回考えた将来や地域のことを忘れず、今後に生かしていきたいと思います。
- ・議会のことを詳しく知らなかったけど、今回の行事を通して議会の活動が少しわかった。
- ・いろいろな話を聞いて将来について考えることができ貴重な時間を過ごすことができた。

- ・議会について、これからの自分について、地域との関わりについて少し知れました。少し身近に感じました。
- ・10年後を考える他に人生の話をしてくれて楽しかったです。
- ・大学に進学するにあたって10年後を考えたり、町がどのように動いているかなどを聞けてとても貴重な体験になりました。町とのつながりを真剣に考える時間になりました。
- ・今日のグループトークのおかげで自分の将来のことが少し見えてきた気がしました。僕もできるだけイベントに参加できるようにがんばります。
- ・普段考えないことを考えさせられ、将来について見据えることができました。
- ・この機会を糧に、今後頑張って自分の目標としている道へ進んでいきたいと思いました。
- ・今回の将来を見据えたグループワークは新しい発見があり有意義な時間になりました。昨年芽室町議会を訪れた際、取組んでいる内容やSNSの使い方を学びましたが、今回はより深く知ることができました。他人の考え方をすることで今後の私の考え方に加え、さらなる考えをもらうことができ良い体験ができました。
- ・議会について知ることができました。また議会について関わる機会があったときはお願いします
- ・10年後、自分が何をしているか、地域はどのように成長しているかをあらためて考え、これからの暮らしをよりよいものにし、進学しても就職しても、地域の力になれる人になりたいと思います。
- ・今回いろいろなことについて考えることができ良い経験になりました。議会のことについても知ることができて良い時間を過ごせました。
- ・とても親切に教えていただき、いろいろなことを学ぶことができとても良い体験ができました。今後議会について調べたりして学んでいきたいと思います。
- ・自分たちは18歳で選挙権をもつ年齢になったので、機会があれば選挙に投票に行きたいと思います。
- ・今回の授業を通して議会や議員を身近に感じる事ができた。
- ・今回の活動でとても身近に感じた。
- ・今までは身近に感じなかったが、高校に入ってから1年に1回くらい議員の方と交流をして少しずつ身近に感じてきている。
- ・今までは全然気にしたことがなかったが、高校に入ってから役場に行ったり、交流も何回かあったので少しずつ身近になっている。交流が増えれば身近に感じると思う。
- ・身近に感じて良いのかわからないけど、今回の活動でとても感じた。
- ・とても身近に感じた。議員と聞くと堅苦しいイメージだったけど全然違ってびっくりした。芽室町のボランティアに参加したということもあって芽室町や議員は身近に感じた。

<議会を身近に感じるためには>

- ・模擬体験を多くする（小中高で）
- ・ポスターを地域に貼ったり、SNS（TikTok、インスタ、ツイッター）で活動を発信することで若い世代の住民に知ってもらえることができると思う。
- ・地元なので身近に感じている。議会だよりをもっと広く配布する。学校の中にポスター貼る（議員さんのちょっとした自己紹介とか書いてある）。写真多めの記事。
- ・議会の活動内容を書いた紙を配る（ポストに入る）。写真を入れる（文字だけは×）
- ・写真多めで紙に議会の活動を書いて街に配る。インターネットで配信。
学校の課外活動の拡大。芸能人を呼ぶ→1日議長
- ・授業で議会とはどういうものか調べて発表してもらおう。写真を多くし、字を大きくして議会だよりを作るとよりよくなると思う。
- ・議会だよりの写真を増やす。いろいろな学校に行きステージで踊る。
- ・授業で選挙をやる
- ・カラーで議会だよりを発行。いろいろなイベントに参加する。議場を見ることができる日を作る。TikTok。
- ・議会での様子をテレビやオンラインで配信する（飾りつけなどして怖い雰囲気なくす）。目に見える形、実際に感じられるような変化を中心に考えて活動していただく。広報など、若者向けにかたい言葉を使わずわかりやすいものをつくる。
- ・SNSでの情報共有。議会だよりに記載されている画像をカラーにし、字を大きく見やすい表紙にする。議会の体験をする。学校での総合学習（町をどのように変えていくかを地域に共有）
- ・議会の会議を切り取り、動画を投稿する。
- ・文字より写真
- ・とても身近に感じた。実際に芽室で一般の人に向けて対談したりするといいかも。高齢者はSNSをやっている人が少ないからイベントをひらいたりするといいかも（議員さんが一緒にボランティアをしたり）。
- ・地域の人か学校に宣伝するようなプリントを配布したり、直接学校に行き活動するとより身近なものに変わっていくと思う。
- ・交流が増えれば身近に感じると思う。
- ・もっとこういう機会を増やしてもらおう。学校にプリントなどを配布してもらおう（どういうことをするかやどんなイベントをするか）
- ・いままではあまり身近に感じることはなかったのですが、今回のような議員のみなさんと関わりを持てる機会があれば少しずつつかもせませんが身近に感じることは多くなると思います。
- ・今日の活動で少し身近に感じられた。今まで議員という存在を理解してはいたけど自分と

は関わりのない職業の人たちだと思っていたので、今日の活動でいろんな話を聞けて良かったです。もっと知ってもらうために、SNSでの配信、ポスターなど、若者にも届きやすいような活動をする。TikTok アカウント作ってください。

- CMで知らせる。ポスターなどを貼る。SNSで見やすいようにする（若者に）。TikTokで発信する。
- お便りなどでいろいろな情報を伝えていけば良いと思った。
- 目標を具体的にする。
- 高校に入ってから議会や議員さんとの交流が増えて話が聞けるのもっと交流の場を増やせばいいと思う。
- あまり身近に感じていなかったが2年生の時に役場に行って実際に議会活動をしてみていろいろ知ることができたので、実際に行ってみて体験するとたくさんの人に知ってもらえると思いました。
- LINEの使用。議員のイメージ改善。
- SNSを最大限いかして人々から興味を持ってもらう。
- SNSとかで発信する（YouTubeとか）。高校だけでなく中学、小学とかいろんな場所で今回のようなことを行う。
- 今回の授業みたいなことがあれば議員さんのことを知ることはできると思う。TikTokやってください。
- LINEの使用。住民からの意見を聞くための。大きなイベントへの相乗り。若い人が興味を引くのは楽しそうな雰囲気。堅苦しいイメージから楽しそうなイメージへ改善。ネットで話題になれば興味がわく。
- LINEの活用。イベント（ハロウィンやクリスマス）の写真とかをUPしたりする。
- 今日のような機会を設けていただいたおかげで芽室町議会は比較的身近に感じる。国単位になると難しくて遠いイメージがある。議会や議員と聞くと難しいや固いイメージがあるから今日のような活動をすることで議会を身近に感じられると思った。
- 市民町民側が知る気がないから何かで知ってもらってじゃなくて、もっと違う方法で議会を理解してもらう必要があると思う。
- 中学生までは議会の活動は分かっていたが、高校生では少し薄れてしまったので、すごいことをしたら新聞に頻繁に載せるなどが必要だと思います。
- SNSを駆使して活動などを積極的に発信していくと良いと思います。このような授業がないと関わりを持つ機会がないと思った。
- LINEを活用。イベントで議員関係のものをやる。TikTokを使う。
- 実際に接点がない。市民や町民が知る気がない。
- 今日で少し感じられた。インスタなどで宣伝したり YouTubeで配信すれば良いと思います。TikTokが1番いいと思います。
- 年齢、素での地域との関わり。議員としての関りではなく人間として関わる。

- ・議会の人たちでTikTokを撮る。
- ・会議の様子をオンラインで見れるようにする。
- ・SNSで積極的に活動する。イベントなどで盛り上げる。
- ・若者に人気のアプリや地域参加型のイベントで宣伝する。
- ・TikTokとインスタの開設
- ・LINEを積極的に活用!!
- ・学校に総合学習をしに行く。
- ・大会とか主催しているときの開会式とかで大きく宣伝。小中高の学校と連携して活動。議会の活動をSNSで発信。目安箱の設置。イベントを主催。
- ・TikTok、YouTube開設。議員で流行りのダンスをする。
- ・インターネット（SNS）を通して知れることがわかったので、議会や選挙をあまり知らない私からすると良い活動だなと感じました。
- ・SNS活動をもっと活発にする（インスタ、X、TikTok、YouTube）。議会主催のイベントを増やす。普通の人たちがしなさそうなことをする（例えば議会お笑いコンビ、議会アイドル、議会戦隊レンジャー）。SNSが今の時代当たり前だから人が目につくことをしたらいいと思う。そしたらテレビとかからも取材が来ると思う。
- ・TikTokをやってみる。どんな仕事をしているのかなど。芽室の特産品や特集を配信する。
- ・議会の体験。インスタを始める（若者が多いから）。動画投稿。
- ・オフラインのイベント（若者層向けの）。議員が主催のスポーツ大会（非現実的だが一緒にプレーする）。流行な店や食べ物を取り入れ、ツイッター、インスタなど主流なSNSに発信。
- ・Facebookを見ると会議のことは書いてあるけどFacebookだとあまり使っている人がいないと思うので、インスタかTikTokなどであげたほうが若い世代の人は知れると思う。
- ・今回のような学生との交流や町民との交流を多くすることが必要だと思う。今はネットでバズるようなことをする。町の方々の問題解決を積極的に行う。
- ・SNS活動を活発にしていく。町の中学、高校などにポスターを貼り宣伝していく。町の施設にも貼る。学生たちの授業に町議会について調べたり交流を増やす。
- ・インスタ、TikTokで議会のことを知ってもらう。イベントごとに盛り上げて町民に楽しんでもらいながら議会の仕事内容を伝える。おたよりを真面目すぎずポップにする（写真や絵をたくさん使う）。
- ・TikTok開設。インスタグラムの積極的活用。
- ・スーパーなど生活に必要な場所にポスター（町議にしかできないことを書く）を貼ったり目安箱を置いたりする。
- ・議会主催の楽しいイベントをする。ユーモアあふれるSNSの発信。
- ・子どもたちに議会体験をさせることでもっと身近に感じると思う。
- ・SNSで発信していく（TikTokやインスタ）